

教壇に三十有五年

赤木まき女史

休養のため教職を退ぞく

ホノルルで一番古い先生

JUN 17 1941



十年八月三十日に來布してその翌日三十一日より直ちに布哇中央學院に奉職、當時の日本の女教員のやうな赤袴姿で教壇に立ち同校で十四ヶ年三ヶ月勤続した

◇それよりカイムキ日本語學校に轉じて仔々として二十年の勤続、今日に至つたがその間の教へ子は何千と數知れず、目下各方面に活動或ひは良きホームを造りそれがこの老教員の老いたる心を慰めてゐる

◇同女史は一九三七年に布哇教育會より二十年勤続で表彰されたが、教員として

はマノア日校の井口宇右衛門校長が古いがホノルルでの教員生活は赤木女史が古く最古參教員である、三十年の教壇生活から去る赤木夫人は齡既に六十を越したが往訪の記者に對して長い間の教壇生活を退きました、しかし學校を止

めたからとてこれで教員が出来ないと云ふのではありません、餘り長く働いて少し疲れたので體を休めやうと思ひますと不撓不屈の教員魂を仄めかします、鑢鑢たるところを見せた(寫眞は赤木先生)

◇カイムキ日本語學校に過去二十年勤続してゐた赤木萬喜女史は今回休養のため辭職したので同校では去るサンデーに父兄會、母姉會同窓會、處女會が合同して盛んな送別會を開催し教壇を去る赤木先生を哀別した

◇赤木先生は赤木武藏氏夫人にて山口縣佐波郡にて教員を奉職してゐたが明治四

041.001

は徳とヒ子に日催

はひを呈し琉球音楽 古典
劇、天川、竹富、加那ヨ
出早作田其の他盛澤山なプ
ログラムにて兩夜とも大賑
はひであつた

眞言宗の法要

ワイルク眞言宗光明寺に於
いては本月十五日午後一時
半より宗祖弘法大師の御誕
去五を初参 御齋開改吏の

しき結果は迅速なる手當
完備せる設備によるもので
昨年胸部診察せるものは千
四百名で内七十二名をエツ
キス光線診察をなし、肺患
は四十名を發見して收容し
たが、其の大部分は日本人
であると語つた

ペペケオ青年

會三氏送別會

布哇島ペペケオ青年會では
一身上の都合でカウマナー
哩の自宅に轉居する會長濱
井清氏と歸國する少年劍道
師範ホノム遍照寺開教師三
池泰道師と處女會作法教師
の同夫人の三氏の爲め處女
會と合同して送別會を左の
如く催した、尙ほ濱井會長
の後任會長としては高井一
氏が就任した

東本願寺青年

會の募金圖書

ヒロ東本願寺青年會では七
月十八日より三日間大和座

布哇島パホア佛青では十
日午後七時半より年度最
月例會を開催した、諸報
あり左の模範青年男女二
に賞品傳達式を舉行、最
に左の如く役員を改選し
模範會員(男)三浦正智
同(女)淺川美惠子
會長池田昇△第一副大
享△第二副(女子部長)
晴夫△第三副(女子部長)
大平マスエ△書記(記帳)
吉田光記、同(通信)椎
惠美子△會計山口教一
同淺川美惠子△監査古
保、同川原保子

日系應召一名

ホノカアの珍現象

來る二十六日入營する第
回徴兵の新兵さん中ホノ
アでは珍しく全六名の内
本人系は外間茂君一人で
つた、此の珍現象は同地
の第二世がヒロ或はホノ
ルへと轉じて居る結果で
ると云ふ

聯合佛青主催

寺本師送別會

前九時より行ふ	12	9	20	商
△町チム	15	1	1	1
△猛虎チム	1	1	1	1
町 猛虎	○勝	勝	勝	勝
鐵道 商業	勝	勝	勝	勝
ケヤビ組	勝	勝	勝	勝
相撲練習開始	勝	勝	勝	勝
獨立祭の對島相撲準	勝	勝	勝	勝